

「安全・安心、そして快適で元気な清須」を実現



平成26年度の市政運営について



加藤静治市長



平成26年度の市政運営について、私の基本的な考え方を申し上げたいと思います。

3期目の市政運営にあたりましては、これまでの2期8年間の歩みを止めることなく清須市第1次総合計画に掲げた政策の推進を基軸に据え、「安全・安心、そして快適で元気な清須」の実現に向けて全力を挙げて取り組んでまいり所存です。

さて、昨年を振り返ってみますと、全国各地では集中豪雨や竜巻が頻発し、大きな爪跡を残しました。

本市におきましても、昨年9月には台風17号と前線の影響により、短時間で相当な雨量を観測し、市内の河川もかなりの水位上昇が見られました。幸いにも大事には至りませんでした。これは河川の流下能力向上や堤防整備など、これまでに取り組んできた成果が現れたものと考えております。

しかしながら一方で、市内の一部においては、道路冠水や住宅の床下浸水被害などが発生したことから、こうした被害を最小限に食い止めるべく、引き続きポンプ場の整備・長寿命化や自主防災組織の充実・強化など、総合的な対策を講じていく必要があると考えております。

次に、「社会保障と税の一体改革」によりこの4月から消費税率が上げられます。国においては、消費税率の引上げに伴う景気の下振れリスクに対応するため、低所得者・子育て世帯・住宅購入者への現金給付措置などの経済対策が打ち出されております。本市におきましても、国・県の施策に呼応して、臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金・子育て支援減税手当を支給してまいります。

さて、公共施設の再編につきましては、保育園の統廃合、新学校給食センターの建設に引き続き取り組むとともに、合併以来の懸案でありました庁舎再編に取り組んでおります。

特に、庁舎再編については、近い将来に発生が予測されている南海トラフ巨大地震などの災害時にも、初動対応が迅速に行えるよう防災機能の強化を図るものです。そして、各地区における証明書の発行等、必要な行政サービスを維持しながら、分散している庁舎機能を統合することにより、市民の皆様の利便性や行政の効率性を高めるものでございます。こちらにつきましては、市民の皆様のご理解とご協力が欠かせませんので、随時情報提供に努めながら、着実に進めてまいりたいと考えております。

このほか、まちの魅力と住みやすさを創造していくための新清洲駅前開発などの基盤整備にも取り組んでまいります。

「安全・安心、そして快適で元気な清須」の実現を目指し、全力を尽くす所存でございますので、市民の皆様には、引き続き市政にご理解とご協力をお願いいたします。

本年度予算に盛り込んだ主な新規・拡充等の事業

安全・安心で自然が息づくまちづくり

- ◆自転車等駐車場の整備に向けた協議を推進〔継続〕
- ◆手提げ型のごみ袋を試験的に導入〔新規〕
- ◆雨水貯留施設の整備に着手〔新規〕
- ◆耐震改修促進計画の見直し〔新規〕
- ◆広域的な消防指令センターを整備〔新規〕
- ◆地域防災リーダー養成講座を実施〔新規〕
- ◆雨水幹線・管渠を整備〔継続〕
- ◆雨水ポンプ場を整備〔継続〕



雨水貯留施設設置予定の上新公園



増築を行うネギヤ保育園

健康で思いやりのあふれるまちづくり

- ◆臨時福祉給付金等を支給〔新規〕
- ◆ネギヤ保育園の増築及び空調整備等を実施〔継続〕
- ◆西枇杷島地区の新保育園整備に着手〔新規〕
- ◆新川児童館の整備に着手〔新規〕
- ◆2次救急医療の医療機器整備を支援〔拡充〕
- ◆県下広域での予防接種事業を実施〔拡充〕
- ◆乳がん検診に個別検診を追加〔拡充〕
- ◆節目年齢がん検診未受診者への受診勧奨を実施〔拡充〕
- ◆官学連携による介護予防事業を実施〔拡充〕

水と緑に恵まれうるおいのあるまちづくり

- ◆水辺の散策路を整備〔継続〕
- ◆都市公園施設の長寿命化を実施〔継続〕

便利で快適に暮らせるまちづくり

- ◆幹線道路の長寿命化に向けて調査等を実施〔新規〕
- ◆橋梁の長寿命化に向けて調査等を実施〔新規〕
- ◆新川小橋の耐震化を実施〔継続〕
- ◆稲春橋の長寿命化に着手〔新規〕
- ◆土地区画整理事業を推進〔継続〕



小・中学校校舎の構造体耐久性調査を実施

歴史・伝統・文化・教育を大切にするまちづくり

- ◆小・中学校校舎の構造体耐久性調査を実施〔新規〕
- ◆清洲中学校新グラウンドを整備〔継続〕
- ◆私立幼稚園就園奨励費補助金を拡充〔拡充〕
- ◆新学校給食センターを供用開始〔継続〕



創造的にいきいきと働くことのできるまちづくり

- ◆清須市観光PR事業を実施〔継続〕
- ◆大手橋を改修〔新規〕



市役所本庁舎の増築予定地

大手橋を改修▶

新しい時代に対応した参加と交流のまちづくり (市民参加と行政運営)

- ◆市役所本庁舎増改築に向けて実施設計等を実施〔継続〕
- ◆社会保障・税番号制度システムを構築〔新規〕
- ◆コンビニ収納の運用を開始〔新規〕
- ◆新川ふれあいセンターを解体〔新規〕
- ◆新川体育館を解体〔新規〕
- ◆旧学校給食センターを解体〔新規〕

平成26年度清須市当初予算をお知らせします

■問合せ 財政課(本庁舎)

平成26年度予算は、子育て支援や社会保障への対応、小・中学校をはじめとする公共施設の耐震化・長寿命化に向けた取り組みなど、安全・安心を確保する事業を充実させるとともに、平成28年度末の竣工に向けた本庁舎増改築の実施設計など、合併以来の課題となっている公共施設の整理統合をより一層進めていきます。

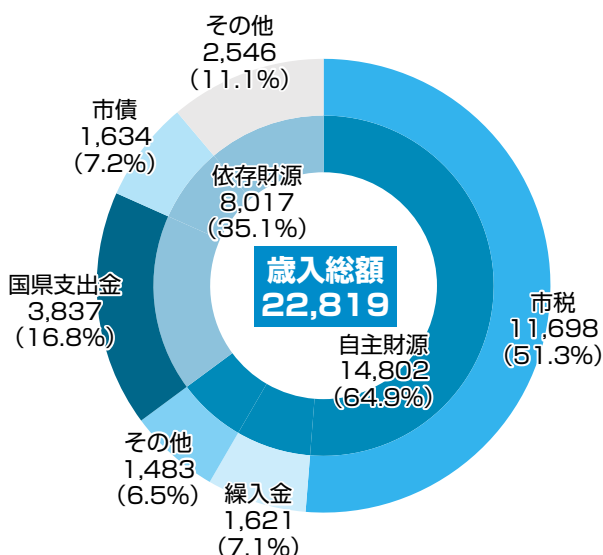
一般会計 228億1,900万円 (前年度比 4.8%増)

平成26年度の一般会計は、総額228億1,900万円で、平成25年度当初予算と比べると10億4,600万円、4.8%の増となりました。

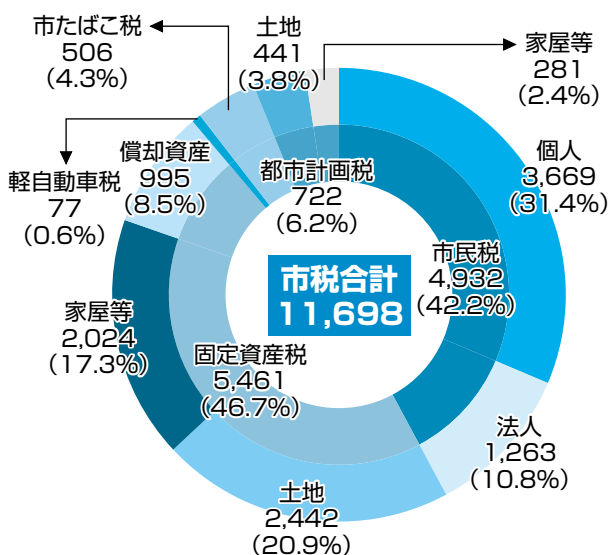
歳入

(単位 百万円)

財源別予算



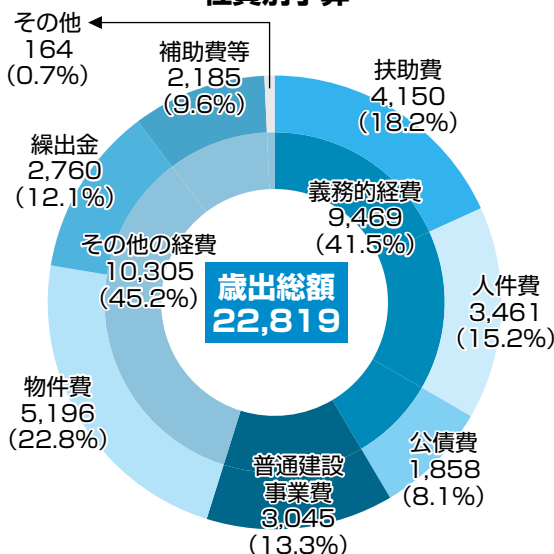
税別予算



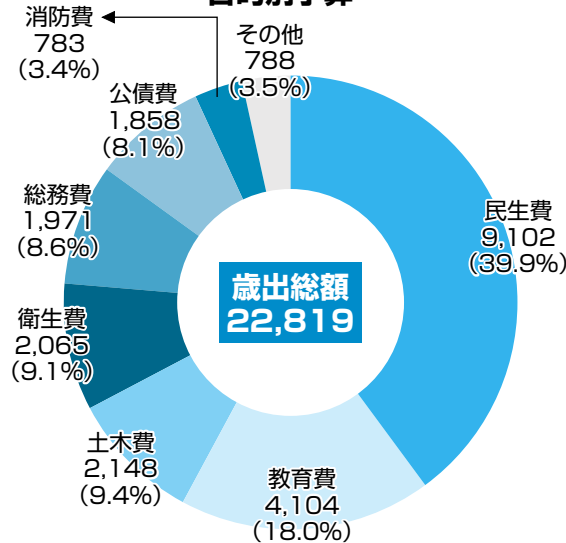
歳出

(単位 百万円)

性質別予算



目的別予算



※市税のうち、都市計画税の収入は、そのすべてが都市計画事業や土地区画整理事業に使われます。道路や公園、下水道の整備など、清須市の良好な住環境の維持・発展に役立っています。

特別会計・企業会計 154億9,258万8千円 (前年度比 10.0%増)

国民健康保険特別会計は、国民健康保険事業の健全な運営を確保し、もって社会保障及び国民保健の向上に寄与することを目的に設置している特別会計で、予算額は、64億5,473万8千円となっています。

介護保険特別会計は、介護保険事業の円滑な運営とその経理の適正を図ることを目的に設置している特別会計で、予算額は、40億6,866万4千円となっています。

下水道事業特別会計は、下水道事業の円滑な運営とその経理の適正を図ることを目的に設置している特別会計で、予算額は、33億9,796万7千円となっています。

後期高齢者医療特別会計は、後期高齢者医療事業の円滑な運営とその経理の適正を図ることを目的に設置している特別会計で、予算額は、12億4,079万2千円となっています。

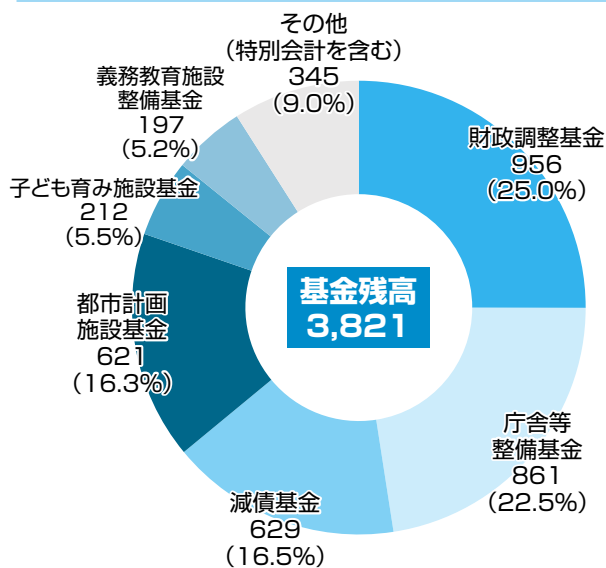
水道事業会計は、生活用水その他の浄水を春日地区の市民に供給するため、その会計事務を処理することを目的に設置している企業会計で、予算規模は、3億3,042万7千円となっています。

(単位 千円、%)

会計名	当初予算額		
	平成26年度	平成25年度	伸 率
国民健康保険特別会計	6,454,738	6,074,481	6.3
介護保険特別会計	4,068,664	3,654,980	11.3
下水道事業特別会計	3,397,967	2,911,715	16.7
後期高齢者医療特別会計	1,240,792	1,154,619	7.5
水道事業会計	330,427	292,535	13.0
収益的支出	215,703	189,952	13.6
資本的支出	114,724	102,583	11.8
合 計	15,492,588	14,088,330	10.0

平成26年度当初予算編成後の基金残高(見込み)、平成26年度末の市債残高(平成26年度起債見込額を含む。)は、次のとおりとなっています。

基金残高 (単位 百万円)



市債残高 (単位 百万円)

